

第 41 回支援連絡調整会議 議事録

日 時：2016 年 11 月 15 日(火) 10:00~12:00

場 所：小友地区コミュニティセンター

出席者：15 団体 19 名

文 責：種坂（事務局）

1. 事務局連絡（10:00~10:05）

➤ メーリングリストの活用について

登録者は自由に投稿できるので活用してもらいたい。投稿用アドレス <<rikutaka-net@googlegroups.com>>。ML ニュースの下部にも記載している。

2. 活動報告（10:05~10:35）

➤ 各団体より活動報告、今後の予定などを共有（全体）

- ・各団体より 10 月以降の活動報告、連携報告、協力依頼およびイベント告知など。
- ・質問あれば適宜。各団体 2 分程度で報告。

※以下発表順、発表者敬称略に記載

※発表の順番は第 41 回支援連絡調整会議参加者名簿に準ずる。番号は名簿の番号を記載。

◆活動報告

1	もっちいと森の仲間たち／望月	・下和野復興公営住宅とモビリア仮設住宅で畑づくりの支援を行った。 ・大船渡夢商店街で 8 のつく日に行われる市日でお汁粉を振る舞った。来年 3 月に商店街が閉鎖するまで関わりたい。 ・隔週で岩泉支援を継続。前は布団を届けた。薪ストーブ支援は、薪が入手できないとのことで反射式ストーブを 5 台現地で購入し届ける予定。岩泉社協が今月末で閉鎖するが、引き続き遠野まごころネットを通じて支援を続ける。 ・2/14（火）二又復興交流センターで PF 参加団体の交流会を予定。チラシを持ってきたので参加してほしい。
2~3	NEC ネットエスアイ（ひまわりハウス）／村上	・11 月で 4 周年、5 年目の活動に入る。11/3 に 4 周年感謝祭として芋煮会を開催。今後ともよろしく願いたい。 ・陸前高田まちゼミ：スマホ・PC のセキュリティ講座を開催する。周知協力をお願いしたい。
4	復興庁岩手復興局／越前	・11 月に入り、各自治体が来年度の予算を立て始めている。来年度の被災者支援総合交付金を活用して事業委託を受け

		たい団体は、早めに窓口となる自治体に相談をしてほしい。
5	市教育委員会 生涯学習課／森下	・1/21(土)22(日) 陸前高田グローバルキャンパス大学シンポジウム 2017：岩手大学と立教大学が共催。現在の東中学校校舎に地域交流拠点をつくっていくなかで、これまで陸前高田に関わった沢山の大学の活動発表やみんなで考える場となる。周知協力を依頼したい。
6	大船渡地域振興センター／米内	<ul style="list-style-type: none"> ・被災者相談支援センター：10月の相談件数は、相談員62件（前年74件）、専門家12件（前年7件）。専門家相談の内訳は、弁護士7件、司法書士2件、ファイナンシャルプランナー3件。陸前高田市では住宅再建がピークになり、相談が増えている。 ・被災者相談支援センターだより：12/11(日)に陸前高田で住宅再建相談会を実施予定。専門家による無料相談の日程も掲載している。 ・いわて復興だより：内陸部の災害公営住宅の整備予定内容や、陸前高田の太鼓フェスティバルについて掲載。 ・11/17(木)陸前高田ふるさとの復興見学会：今回は市の事業と協働で行い、市の事業では大型商業施設や高台3の工事現場、県の事業では高田海岸防潮堤工事現場を訪問する。初日で定員40名の申し込みがあった。
7	国立大学法人岩手大学 三陸復興・地域創生推進機構／佐々木	<ul style="list-style-type: none"> ・心のケア班：カウンセリング、出前研修を継続。介護施設で、職員や介護者も入ってリラクゼーションを行った。 ・2/11 福島県・宮城県・子どもグリーフサポートステーションと一緒にシンポジウムを開催予定。詳細については次回調整会議でチラシを配布予定。
8	NPO 法人 福祉フォーラム・東北（朝日のあたる家）／長友	<ul style="list-style-type: none"> ・10/19 芋煮会：普段活動に参加する地域の方や関係者で約100名の参加があった。 ・12/4(日) シルバーアクセサリーづくり：クリスマスプレゼントに適したペンダントの作成。材料費1,500～2,000円。興味がある方はご参加ください。
9	認定 NPO 法人 遠野山里暮らしネットワーク／林	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティーホールでの演芸会サポート（200名参加）。 ・ほっとひといき（月1回）継続。 ・現地スタッフは社協の依頼で栃ヶ沢アパートへの引越し手伝いも対応。 ・12～1月から災害公営住宅のコミュニティづくり支援を予定。集会所を活用し、手芸教室や図書機能が備えられた喫茶を住民主体で行いたい。

		<ul style="list-style-type: none"> ・遠野まごころネットのサンタ 100 人企画：今年は今のところ陸前高田での実施予定は無い。12/24（土）大鋸、12/25（日）釜石で開催予定。
10	陸前高田まちづくり協働センター／三浦	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりコーディネーター育成講座：7月から始まり、11月で全6回が終了。 ・陸前高田まちゼミ：2講座（超初心者向け word 講座・デザイナーが教えるチラシづくり講座）を開催。まだ空きがあるのでぜひ参加してほしい。
11～13	特定非営利活動法人パクト／桑久保・熊谷	<ul style="list-style-type: none"> ・二又復興交流センター：太鼓フェスティバルや、立教大学と高田高校バレエ部の交流、高田一中と県内の高校のバスケット部交流など、週末のイベントに合わせた団体利用が増えた。今後も部活動を含めた利用が増えてほしい。また、陸前高田まちゼミにも参加している。 ・サポートステーション：10月のボランティア受入れは個人が45名、団体が238名で全体283名。主に除草活動だが、寒くなり今生えているものでひと段落。漁業支援はわかめやホタテ養殖のお手伝い、農業支援はりんご収穫がこれから最盛期。学校関係の復興教育は10月でひと段落し、今月3校で今シーズンは終了。 ・10/25 高田松原を守る会が防潮堤付近で試験植栽を実施。松の苗木に防風柵をつくる手伝いをした。春から本格的に松の移植を始めるようである。 ・11/12 古川沼で市の職員と不明者捜索。人のものと思われる大きめの骨が3本見つかり、警察で鑑定待ち。
14	いわて生活協同組合／池田	<ul style="list-style-type: none"> ・移動店舗にこちゃん号が、11月末でコース変更。公営住宅ができ、仮設住宅の入居者が減ったため。 ・11/27（日）奥野ひかるコンサート：コープあいちの協力で主催する。誰でも参加可能だが、電話での事前予約が必要。よろしければ参加してほしい。
15	NPO 法人ハマトラ 横浜フットボールネットワーク／篠原	<ul style="list-style-type: none"> ・11/19（土）フットサルいっしょにやろう：横田の子どもたちだけでなく、引越した方や卒業生なども参加可能。ただし送迎は対応できない。地域の方から聞かれた際にはそう伝えていただきたい。 ・仮設住宅の空き部屋が増えたが、もとの戸数の4割がまだ入居している。それぞれに事情があり、まだ状況は厳しいと感じる。
16	特定非営利活動法人	<ul style="list-style-type: none"> ・花巻市生涯学習課の方々が花画廊のコスモスの種を採集し

	再生の里ヤルキタウン／熊谷	に来場した。 ・11/13 兼松(株)の陸前高田タイアップ事業提案会に参加。 ・12/10(土)ヤルキタウン4周年お客様感謝デーを実施する。
17～18	陸前高田市復興支援連絡会／佐藤	・仮設住宅や公営住宅でのお茶会を、この1ヶ月で27回開催。11/10大野の公営住宅で初めて開催。すぐ前の高台移転地17戸にも声がけした。13名参加(公営5名、高台8名)。 ・横浜のおおぞら整骨院から毎月2名マッサージボランティアに来ていたが継続が難しくなり、11/10高田一中仮設住宅で最後の活動となった。 ・いきいき健康教室、はまかだ教室などと一緒に行うお茶会も継続している。
19	いわて連携復興センター／葛尾	・ホームページやFacebookを通じて、助成金情報や岩泉の情報を発信。岩泉のボランティアが不足しているので随時募集している。

3. 活動分野毎の討議・意見交換(グループ議論)

<1G 地域・コミュニティ>

- お互いの活動内容について詳細を共有

パクト(サポートステーション)

- ・ 生業支援(漁業・農業)は今後も継続していくのか。→依頼があれば継続したい。
- ・ 団体のボランティアは県内の中学校・高校が多く、活動時間が短いため、なかなか作業依頼に応えられないこともある。
- ・ 高田松原を守る会の松の試験移植は関心が高い。

いわて生協

- ・ ボランティアバスの今後の運用について共有。
- ・ 移動店舗のコース変更は、入居者がゼロになった仮設住宅の代わりに災害公営住宅を回るようになる。

遠野山里ネット

- ・ 公営住宅でのコミュニティづくり支援は中田団地での活動を想定。中田の交流プラザももうすぐ始まるのではないか。

- 栃ヶ沢ミーティング(栃ヶ沢アパート支援)の様子を共有

自治会設立はまだだが、住民が主体となれるよう準備委員会で動いており、アパートの規模は大きい1つの自治会設置の方向性。

9月に社協主導でラジオ体操が始まったが、その後は住民主導で継続している。

- 来年度の1Gについて

頻度・会場・議事録・備品について話が出た。主な意見として、「予算は無いものとし

て考えられると良い」「月 1 回のサイクルが情報共有の場として良い」「板書のホワイトボードがそのまま議事録になる」「どうしても費用がかかる場合は会費を集めるかどうか」また、会場提供ができると手をあげてくれた団体もいる。

今後、復興支援連絡会が主導でどう運営するかは、今後もう少し詰めていく。市の担当課にも参加してもらい、団体と行政がどのようにコミュニティ支援ができるかを議論する場になると良いとの意見も出された。

<2G 子ども・教育／女性・子育て>

○ 来年度の 2G について

4 月以降、自分たちで運営することを仮定しての課題について検討した。印刷費や会場費といった金銭面と、当日の運営や議事録といった事務局面の 2 点が挙がる。

金銭面

- ・会場はグローバルキャンパスが利用可能か、岩手大学佐々木先生より確認してもらう。難しい場合は、レインボーハウス・ひまわりハウス・協働センターなどのスペースもあるが、できれば固定したい。
- ・資料は各自が印刷して持ち寄る、もしくは PC で見る。

事務局機能

- ・議事録は簡単で良いということになった。当日進行は参加者で分担する。
- 子ども支援ネットワーク会議が継続になれば、そちらに参加したいが、継続にならないければ上記の方法を検討したい。
- 今後の会議については、これらの進捗報告とこれまで通りこの分野のニーズや課題について話していきたい。

<3G 商工・観光・産業・その他>

○ 来年度 3G 独自でやるとしたらどのように運営するか

場所はひまわりハウス。議事録はその場で PC に打ち込む。次回のお知らせをプラットフォームのメーリングリストで流す人を毎回ジャンケンかくじ引きで決めるなど、できるだけ参加者で負担を分け合うようにする。内容は今と同じく、情報共有とテーマ議論を毎回していく。

○ WEB 発信している媒体（高田旅ナビ、ミルクルリくたか）に協力できないか

高田旅ナビの関係者が今回不在のため詳細は聞けなかったが、いま掲載されている情報よりも詳しい情報（お店のレビューやイベント情報など）を提供したい。毎回 3G で集まる時に、今月はどんな情報を載せるか話し合っても良い。

○ 陸前高田の観光に対する課題の共有

観光客やボランティアが減る中で、今後陸前高田がどのような方向性で誘客していくかを話し合った。今回出た疑問や意見としては、「沿岸被災地が広範囲にあるなかで、陸前高田にピンポイントで来てもらうにはなにをしていくか」「行政がどんなことを考

えているのか」「今後ラグビーのワールドカップやオリンピックがあるなか、いまから手を打って、人に来てもらう仕掛けを作っていないといけない」「10年後、20年後の陸前高田らしさを作っていないといけない」など。

今後どういう動きができるかはわからないが、継続して議論したい。

【次回の開催日程】

第42回 支援連絡調整会議

日時：12月13日（火）10：00～12：00

会場：陸前高田市コミュニティーホール 大会議室 A